

大田区自立支援協議会 防災部会議事録

文責：石塚委員（区事務局一部修正）

(1) 会議の名称	平成 28 年度大田区自立支援協議会 第 1 回防災部会				
(2) 開催日時	平成 28 年 5 月 18 日（水）10：00～12：00				
(3) 開催場所	障がい者総合サポートセンター 5 階 多目的室				
(4) 出席した委員、事務局等	委 員（部会長：栗田 修平）				＜敬称略＞
	志村 陽子	竹内 奈津子	竹内 千代江	石塚 由江	市川 脩
	柚木 秀彦	岡戸 繁樹			
	オブザーバー：春田 耕作（大森消防署）、都甲 周二（田園調布消防署）、 内藤 禎一（大田区立大森東福祉園 施設長）、 田村 克彦（大田区立南六郷福祉園 施設長）				
	関係者：森山 康之（大田区立障がい者総合サポートセンター 統括管理者）				
	区職員：内川 洋一（災害対策担当課長）、山中 秀一（上池台障害者福祉会館長）、 阿部 幸喜・高橋 太洋（防災危機管理課）、吉田 実（障害福祉課）、 斉藤 禄美・小泉 洋子（障がい者総合サポートセンター）				
事務局：酒井 敏彦（障害福祉課長）、 井村 陽介・中條 美由紀・岩下 祐輔（障害福祉課）					

事務局からのお願い

◇ 発言の際はマイクを通し、最初に所属と名前を述べてからご発言いただきたい。

◇ 会議途中（開始から 1 時間後くらい）で、休憩（10 分程度）をとる。

- 1 出欠者の確認
- 2 配付資料の確認
- 3 部会長選任の確認 → 部会長：栗田委員（本会にて決定）
- 4 自己紹介
- 5 司会・書記の確認 → 司会：栗田部会長 書記：交替制
- 6 連絡・報告事項

(1) 第 1 回本会（4/18）の開催について

- 委員の参加：22 名 傍聴：2 名

(2) 平成 28 年度の協議会の構成について

- 協議会会長の選出は、互選にて白井委員に決定

(3) 平成 28 年度の区事務局担当者及び連絡先一覧について

(4) 平成 28 年度全体スケジュール（案）について

- 防災部会の開催は、基本的に毎月第 3 水曜日とする。（今後の予定は以下の通り）

6 月 15 日、7 月 20 日、8 月 17 日、9 月 21 日、10 月 19 日、11 月 16 日、12 月 21 日

1 月 18 日、2 月 15 日（3 月の開催予定はない）

7 議題

(1) 事務局担当（作業部会メンバー）の選出

- 事前に集まり、防災部会を円滑に進めるための会議。
→ 栗田部会長、志村委員、竹内（奈）委員、竹内（千）委員、市川委員に決定
- 開催時期は、防災部会の 2 週間～10 日前くらい。部会後に日程調整を行う。

(2) 編集委員選出

- 「自立支援協議会だより」の発行にあたり、編集会議にて記事を企画。メール・PC作業が中心。 → 柚木委員に決定

(3) 運営会議委員選出

- 全体討議会前に開催。討議会のあり方、運営方法、部会に属さない課題などの検討もあるため、コアメンバーを選出する。 → 栗田部会長、志村委員に決定

(4) 今年度の進め方・検討課題について

※ 平成 27 年度大田区自立支援協議会報告書（P45）参照

- 27 年度に取り組んだ内容を踏まえた 28 年度に取り組むべき課題については、以下の通り。

【事務局から】

① ヘルプカードの普及・啓発方法

→ ヘルプカードは平成 24 年に作成し、ホルダーと一緒に配布している。27 年度はヘルプマークを活用したステッカーも作成し、福祉避難所となる施設に配付し、来所者への周知も図った。福祉避難所用避難者カードもヘルプカードの内容に沿って作成。28 年度もさらに、ヘルプカードの普及・啓発に取り組みたい。

② 地域・関係機関との連携方法の検討

→ 地域福祉活動交流会へ初めて参加し、「ヘルプカード」「のぼり旗」「ステッカー」「協議会だより」をお知らせできた。28 年度もさらにこのような連携していきたい。

③ 防災訓練の参加・協力の検討

→ 大田区内の総合防災訓練に「自立支援協議会 防災部会」として参加できた。

④ その他

→ 27 年度は「各委員からの情報発信！共有！シート」を活用し、各団体の防災に関する取り組みを部会全体で共有した。28 年度も活用していきたい。

【委員から】

- 地域の取り組みには温度差があり、町会ごとの取り組みも異なる。年度末の地域福祉活動交流会で防災部会のブースを出すことができたことは意義深かった。これを積み重ねていきたい。福祉避難所協定を結んでいることからさらに発展していけるようになれるとよいと思う。また、「おおた障がい施策推進プラン」の基本目標にもあるように、自立支援協議会における議論が大切。皆さんで検討していきたい。

- 熊本地震で被災された方々の状況からも、施設や学校の再開という視点が大事であることが改めてわかった。各施設や学校には、消防計画に“事業継続”という視点を加えた防災計画（事業継続計画：BCP）が必要で、防災訓練を繰り返し行いながら、BCPも検証していくことが大切。福祉避難所協定を結んでいる福祉施設や都立特別支援学校での福祉避難所開設（準備）訓練の取り組みがさらに進むように個人としても働きかけたい。また、昨年度、障がい者総合サポートセンター・さぼーとびあで実施された福祉避難所設営準備訓練は、地域住民への福祉避難所の周知になり、障がい当事者や家族にとっても大きな啓発になった。

(5) 年間スケジュールについて（日時、各回の内容）

原則 第3週 水曜日 10時00分～12時00分

※ 次回日程

日時：平成 28 年 6 月 15 日（水） 10 時 00 分～12 時 00 分

会場：障がい者総合サポートセンター 5 階 多目的室